

-----1月15日-----

2019年

※ 今週のアウトルック (1/15~1/18)

先週は、各通貨ペアとも狭いレンジでの動きに終始しました。

年末からの悲観的なムードが幾分落ち着く中、買い戻しからのリバウンドも期待したいところですが、まだ、世界的な景気後退懸念は続いているようです。

今週は、米国政府機関の一部閉鎖の解決の糸口が見えてくるのかどうかにも大きく左右されそうですが、期待と現実のギャップの中、どちらへも動きづらい状況はもうしばらく続くのかもしれない。

先週のドル円は108円から109円付近の狭いレンジ内の動きとなっています。

メキシコ国境の壁建設費用を巡り、議会での対立は続いており、なかなか解決の糸口がつかめない状況です。

今週は、議会对立問題の解決のめどが立てば、幾分NYダウの上昇やドル高円安も期待できそうですが、短期的な回復に終わってしまう可能性も否定できないように思います。

ドル円の予想レンジは107円から110円です。

ユーロ円は先週、125円付近のレジスタンスに阻まれて、なかなか上昇できない状況が続きました。

今週も上下どちらへも大きく動きづらい状況は継続しそうですが、122円付近のサポートが破られてしまった場合には、大幅下落の可能性も浮上しそうです。

ユーロ円の予想レンジは120円から126円です。

ポンド円もなかなか動きづらい状況が続いています。

140円以上に上昇しない限りは、135円以下を目指す勢いは衰えそうもありません。

ポンド円の予想レンジは130円から144円です。

狭いレンジ内での停滞ムードが続いていますが、世界経済の減速懸念を後押しするような発表や発言があった場合に、一気に円高ドル安が進む状況を警戒する必要はありそうです。

免責事項

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。